



# 週報

# VOL XVI

佐 沼 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ

## LET SERVICE LIGHT THE WAY

奉仕の灯で 道を照らそう

例会場 七十七銀行佐沼支店ホール TEL(2)-2577  
例会日 毎週木曜日 12.30~13.30  
事務所 振興相互銀行佐沼支店 TEL(2)-2547

会長 千葉重雄  
幹事 大河内 清  
週報 白石謙造 村上武彦 小林忠秋  
阿部正美 秀 義弥

### 第750回例会

1979. 8. 23 No. 8

◎ 本日の出席率 36名中29名 80.55%  
欠席会員 豊岐会員、秀会員、氏家(良)会員、遊佐(徳)会員、若見会員、伊藤会員、遊佐(新)会員

◎ メークアップ 鈴木彦太会員(岩沼RC)

◎ 前回修正出席率 83.33%

◎ ニコニコボックス

○ 及川(健)会員

長女恵さんが17回目の誕生日を迎えられました。おめでとうございます。

○ 村上会員

長女たえ子さんが15回目の誕生日を迎えられました。おめでとうございます。

◎ 会長要件

日中はまだ暑い日が続いておりますが、朝晩は大分涼しくなってきました。本日も皆様お元気でご出席下さいまして有難うございます。月初めにガバナー公式訪問がありましたが、及川ガバナーより礼状が参っておりますので紹介申し上げます。

「前略 この度の公式訪問に際しては、ロータリーの友情をもって温かく迎えて下さいまして誠に感謝にたえません。生まれて初めて訪問した迫町は、とても落ち着いていて平和な町だと思いました。36名の会員も全員意気が合って親睦の実があがっていることを確認致しました。とても気持ちのいいクラブと感じました。昨年は伊豆沼の白鳥の奉仕で意義ある業績賞を授賞され、また財団に対する寄附額も1,900%にのぼり、今年度は米山奨学会に対して特に力を入れられるとのこと、なかなか活発な活動をされて居られることに深く敬意を表します。

また、町内美化運動を会員自身の勤労奉仕でやられたことは誠にrippだと思えます。会員の親睦を深める為に盛り沢山のプログラムを作られることは羨しい限りです。例会のスピーチも会員のスピーチに重点をおいておられることは適切なことと思えます。どうか今後も若い会員を入れて会若返りに努力して下さい。

会員皆様の御健勝をお祈りしてお礼の言葉と致します。」

○ 本日は職業奉仕のフォーラムが予定されておりますので委員長を中心に宜しく願い致します。

○ 先日土木事務所より、迫川河畔の花壇の場所に土盛りをするので移動されたいとの連絡があり、公民館にご相談申上げたところ橋の上流へ一時移植されたら、とのことで、早速移植したいと思いますので皆様のご協力をお願い致します。

○ 佐沼青年会議所10周年記念式典開催の案内が参っております。

日時 昭和54年9月16日(日)

場所 佐沼小学校屋体

12時~13時 登録受付

13時~14時 記念講演

テーマ「みるみるやる気のでる活力禅

平常心」

ゲスト 京都大徳寺塔頭大仙院住職

尾関宗園先生

14時15分~15時30分 記念式典

16時~18時 懇親会

(佐沼自動車教習センター)

◎ 幹事要件

○ 会長より話がありましたが、花壇移転についてですが移転場所は振興相互銀行の近くになるようです。のち程打合せしたいと思います。

○ 塩釜RCより週報が参っております。回覧します。

○ 只今、及川(健)会員よりお話しありまして、花壇移転について土盛工事は自分の会社でやるので、ついでに移転してあげてもいいとの有難いお話しですので、今回の作業は阿川建設様をお願いすることに致します。ご好意に厚く感謝申し上げます。

◎ 親睦委員会(小林副委員長)

ご案内致しておりましたテーブル会を、来る30日午後6時より迫町内「温州」にて行います。ABCD合同ですがそれ以外の方々も是非ご参加賜りたいと思います。当日ゲストとして佐沼税務署長の原重道氏をお招きしております。会費3,500円は当日集金致します。

釣大会につきましては後日日程を改めてご連絡差上げる様に致します。

◎ 職業奉仕フォーラムについて（千葉（春）委員長）

今年度初めてフォーラムの時間を与えられたのですが、職業奉仕については先輩会員の方々には復習の意味でも活発なご意見を賜りたいと思いますし、また新入会員の方方にはこの機会に大いに勉強していただきたいと思ひます。

ご承知の通りロータリーの綱領の第2項に関連規定がございますが、この規定は作業奉仕の原点とも云われております。道徳的水準を高めること、職業を品位あらしめること、この二つの点が大きな柱となり、このことを深く理解してこそ職業奉仕の目的がなされ得ると思ひます。皆様のお手許に「道徳律と職業奉仕」についての規定書を配付して居りますので、先ず第1条から第11条まで逐次朗読し乍ら話しを進め、その後には討論に入りたいと思ひますのでどうぞ高見をお願い致します。もし予定の時間内に討論に入れない場合は次回迄の皆様への宿題の一つと致したいと思ひます。（朗読文省略）

会員皆様の職業上での事例を提供していただきながら、今後の話し合いを進めたいものと考えますので、よろしくお願い致します。なお、昨年の地区大会に於てのフォーラムで頂戴した「職業奉仕とは何ぞやを解明する」という小冊子がありますので、参考に致したいと思ひます。今日は時間ありませんので、次の機会にまたお話し申し上げることに致します。

訂正のお知らせ

前回週報の第748回例会を第749回例会に訂正

ロータリーの誕生とその成長

今から74年前の1905年、その頃経済恐慌で人心の荒れすさんでいたアメリカ社会、特にシカゴの状態を憂えた、青年弁護士ポールP・ハリスが、奉仕の精神によって人の和をはかることこそ、よりよい社会をつくりだす道であると考え、3人の友人と語らって2月23日、この理想を広く人々に呼びかけようと、第1回の会合をひらいたのが、ロータリークラブの誕生であります。ロータリーとは、会員が持ち回りで順番に、集会を各自の事務所で行ったことから名付けられました。この理想は着実に成長し、現在152の国家および地域にひろめられ、クラブ数18,166会員数843,500名に達し、さらに大きな発展を期待されております。

日本のロータリー

わが国のロータリークラブは1920年（大正9年）10月20日、当時三井銀行の重役であった米山梅吉氏が、初めて東京にこれを創立し、翌10年4月1日、世界で855番目のクラブとして加盟承認されました。その後太平洋戦争の結果、一時国際ロータリーから脱退するのやむなきに至ったこともありますが、その間もよくロータリーの精神を堅持して会合につとめ、その真髓と組織を維持し、戦後国際ロータリーに復帰するや、益々発展、現在では北は北海道、南は沖縄まで、クラブ数1,441会員数79,600名に達し、なおすべての都市、すべての町にその理想の翼を広げる努力をつづけております。会員は地域内の理想にもえる堅実な実業家、専門職業人の中から定款により、1業種1人を選び、週1回のクラブ例会出席によって、各種職域人の交友を通じて地域社会へのより多くの奉仕の機会を得ようとはかっております。

ロータリーの目的

社会生活における人間の幸福は、他人への思いやりと助け合いにあるとするロータリーでは、国際奉仕、社会奉仕、職業奉仕、クラブ奉仕の4部門を設け各自の職業を通じて「奉仕の理想」を推進することを目的としており、そのためには

- 1) 広く知己を求めて奉仕の機会を多く持つ
  - 2) 各自の職業に誇りをもってその道徳的基準を高める
  - 3) 公私の別なく奉仕の理想を実行する
  - 4) 国際的にも理解と友情を広めかつ深める
- という四つの道をひらき、そして各自が

- ① 真実かどうか
  - ② みんなに公平か
  - ③ 好意と友情を深めるか
  - ④ みんなのためになるかどうか
- という四つのテストに照らして行動することが大切であります。

……ロータリーの友7月号より……